

第3回芦原温泉駅まちづくりデザイン部会

日時 令和4年3月3日(木) 19:30～

場所 中央公民館 多目的ホール

会 議 次 第

1 開 会

2 部会長あいさつ

3 報告事項

(1) デザイン部会の今後の方向性について…当日資料

(2) 賑わい施設「アフレア」整備内容の見直しについて…資料1～3

(3) 「アフレア」のロゴデザインについて…資料4

4 閉 会

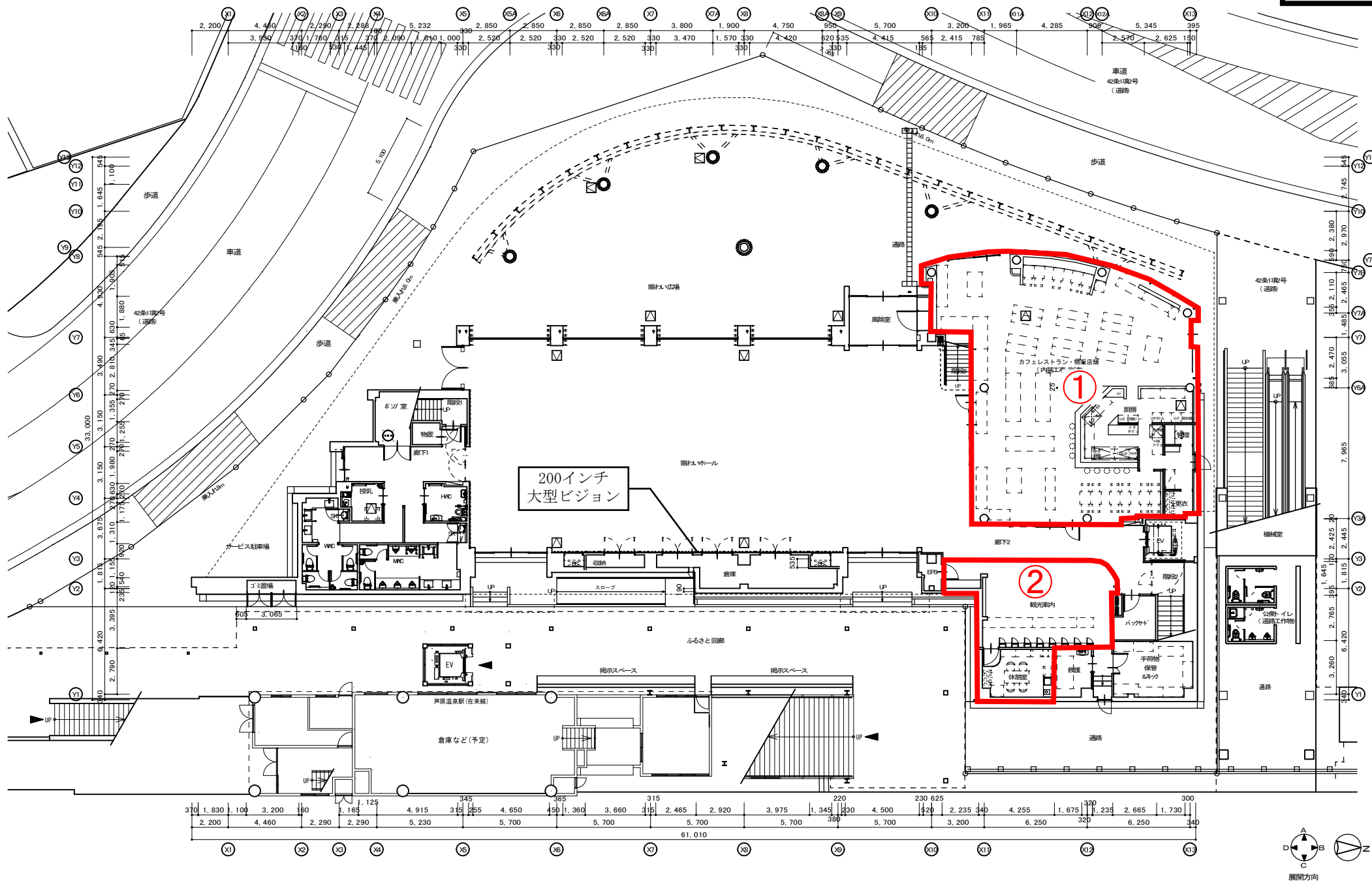
芦原温泉駅西口賑わい施設「アフレア」管理運営スケジュール

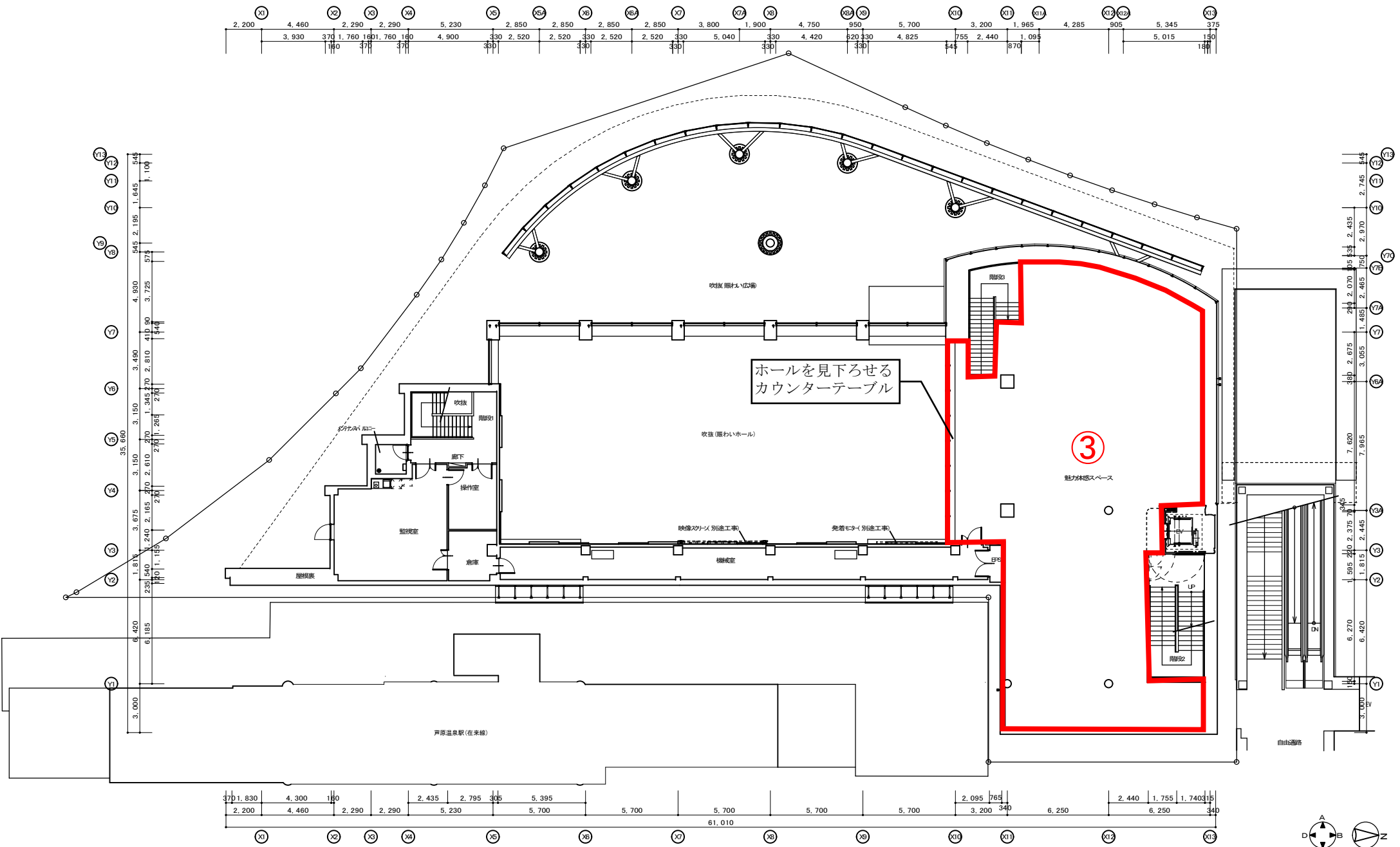
項 目	令和3年度												令和4年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設整備	建築工事												館内装飾・事務所・観光案内所整備											
	魅力体感施設整備（コンテンツ制作、撮影等）												魅力体感施設整備（内装）											
	カフェレストラン・物販店舗整備																							
	各種調整（備品、大型ビジョン、デジタルサイネージ、セキュリティ、カフェ物販等）																							
施設管理運営	愛称募集												開館～R4.5（GW） オープニングセレモニー、毎週イベント実施											
	選定委員会												★ 開館											
	愛称決定												★ 一般社団法人設立											
	ロゴマーク制作												社員（会員）募集・寄付金等依頼											
賑わい創出 （ホール・広場）	◆ 芦原温泉駅 まちづくり デザイン部会												◆ 条例制定											
	◆ 芦原温泉駅 まちづくり デザイン部会												◆ 指定管理者指定											
	◆ 芦原温泉駅 まちづくり デザイン部会												★ （仮称）アフレア活性化委員会設立 （イベントプレイヤー、各種団体、生産者等）											
	イベント・展示・館内装飾・備品等の検討												イベント・展示・館内装飾等の検討											
													貸館受付											
													サポーター募集（イベント・展示補助、清掃ボランティア等）											

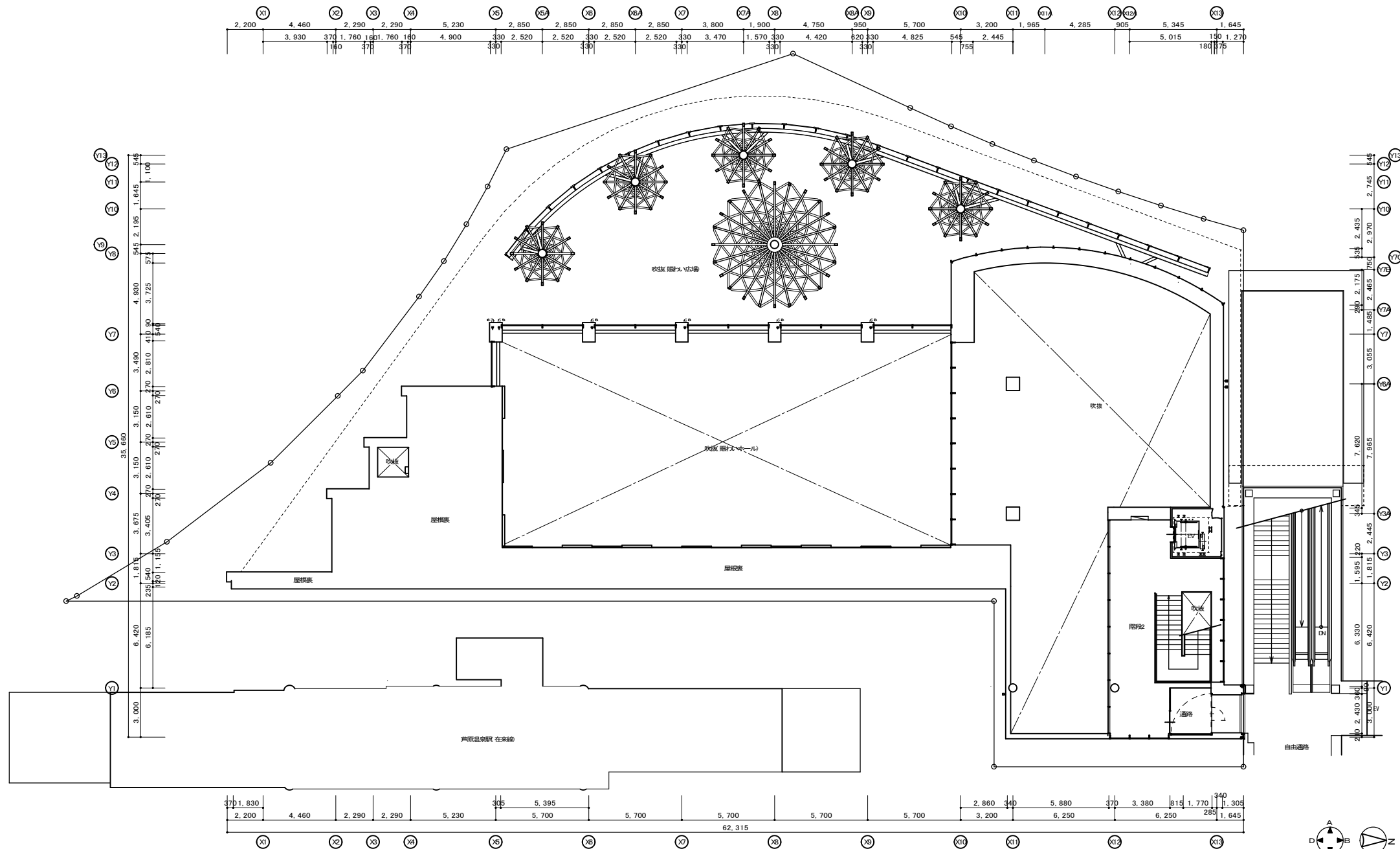


賑わい施設「アフレア」整備内容の見直しについて

検討箇所	検討事項	メリット	デメリット	備考（市の方針等）
①カフェレストラン ・物販店舗	王道の土産品だけでなく、地域住民向けの物販（道の駅のイメージ）も行い、品揃えの充実を図るべき。	・地域住民の利用が増え、集客力アップが見込める。	・飲食スペースが小さくなる。	・3/16(水)16:00～三丹本店と打合せ協議（飲食メニューや物販品目の提示あり）
	三丹のお得意様の商品だけが店頭に陳列されることのないように（地域の偏りがないように）すべき。			
②観光案内所	魅力体感施設を2階に配置したこと、また観光客向けのスペースであるため、閑散としないか。さらに、無人の空間であることから、観光案内所を2階に配置し、一体的に魅力を発信した方が効果的ではないか。	・魅力体感施設の無人空間が解消され、展示物・設備の説明や観光案内など、一体的かつ効果的に観光客のおもてなしができる。 ・1階部分に、金津まちなか観光ガイドの拠点場所やレンタサイクル受付（自転車置き場含む。）などの配置が可能となる。	・想定していた人の動線上に観光案内所がなくなるため、観光客の利便性が損なわれる。 ・観光案内所で京福バスチケットの販売を行う場合、利用者が2階までチケットを購入しに行かなければならず、勝手が悪い。 ・1階に案内所スタッフがいなくなるため、三丹等に手荷物預かりサービスを行ってもらう必要がある。 ・外からの出入口の新設など、機能の配置を抜本的に見直す必要がある。 ・建築確認申請や防火計画の変更等が必要となり、工期の延長（開館の遅延）が見込まれる。ただし、既に基礎工事を施工しているため、大幅な見直しは困難。	・観光客の利便性に配慮し、当初設計のとおり1階に観光案内所を設置する。 ・2階に簡易カウンターを設置し、案内所スタッフが滞在できる環境を整えるか今後検討を行う。
③魅力体感施設	魅力体感施設は、観光客向けのスペースであり、集客力に欠ける。また、1回は行っても2回、3回と行きたくなる要素が薄い。2階スペースの集客力を上げるために、地域住民にも足を運んでもらう仕組みが必要である。			・現在の魅力体感施設がシニア向けの魅力発信スペースに見受けられるため、子育て世代（駅利用者、観光客等）も有効に時間を過ごせるよう、新たにキッズスペースを設ける方向で見直しを図る。ただし、魅力体感施設整備費の範囲内で行う。 ・新たにトイレと授乳室を設置する。
	現計画では、1階ホールから見上げた際に、主に湯けむり幕が見えるようになっているが、インパクトが足りない。また、湯けむり幕では温泉らしさが伝わらないのではないか。			・湯けむり幕や各コーナーの配置について、見直しの検討を行う。
	恐竜段ボールでは魅力が伝わりにくい。肉付きの動く恐竜の方がワクワク感がある。			・すでにレンゴー(株)に恐竜段ボールを発注済みである。また、肉付きの恐竜は動かないものでも700万円以上するため、事業費を増額しないと難しい。よって、魅力体感施設の見直しを検討する際に、2階以外も含めて配置場所を見直す。







■ CONSTRUCTION TITLE
(仮称) 芦原温泉駅西口賑わい施設

建築工事



株式会社 木下設計

一級建築士事務所 (福井県) いー514号 福井市御幸3-2-22
一級建築士 木下 貴之 No.123156 TEL 0776-21-8468 FAX 0776-21-8036

■ CHARGE

■ DRAWING TITLE

3階平面図

■ SCALE

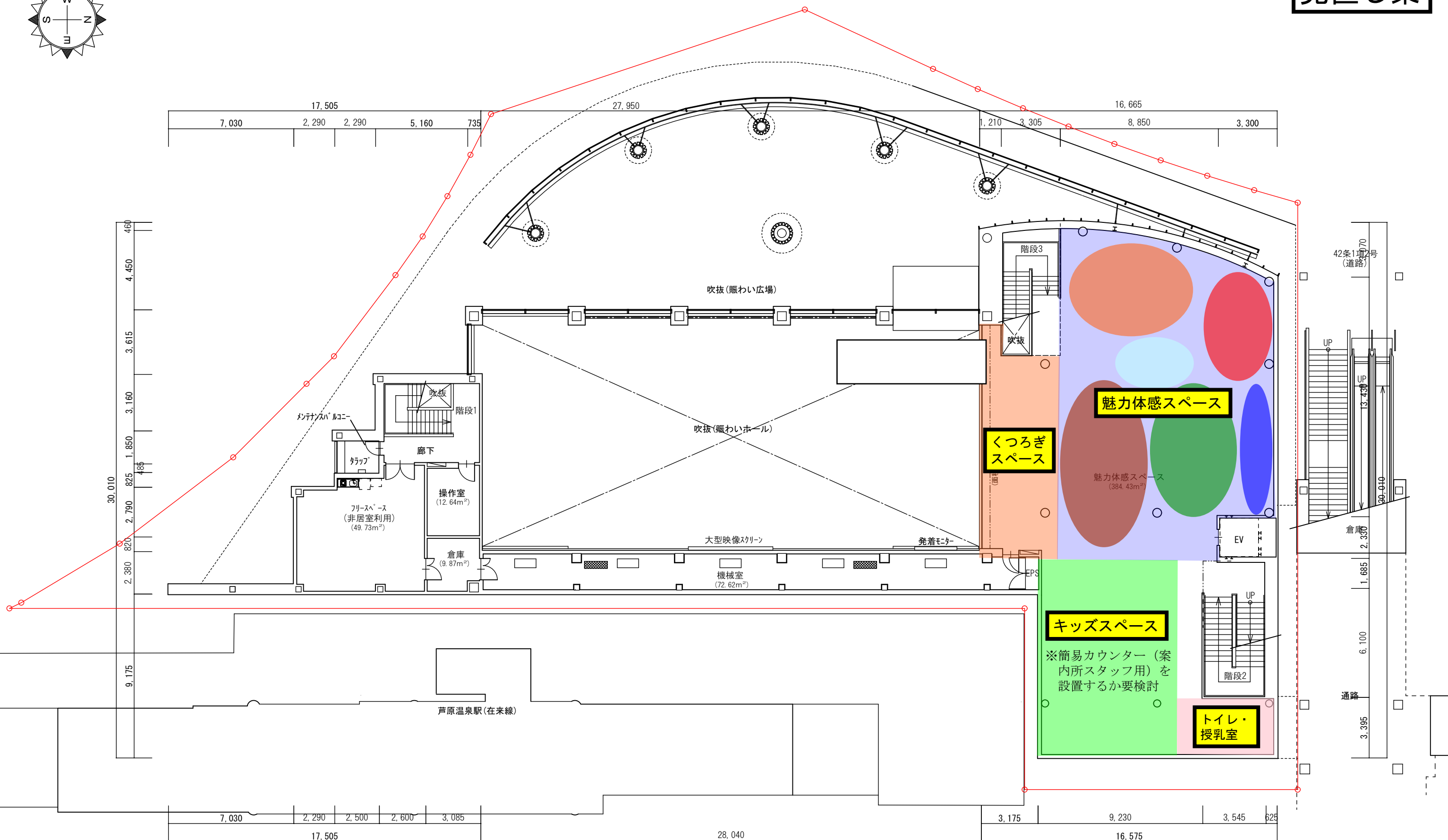
1/150(A3: 70%縮小)

■ DATE

2020.06.24

■ NO

A - 15



賑わい施設「アフレア」ロゴデザインについて

